

2023年5月16日

投資家との対話の状況について

■対応者

当社では、I R・S R業務は、原則として経営戦略部広報室が担当しております。ただし、対話のテーマ等に応じて、代表取締役、経営戦略部担当取締役、経営戦略部長及び経理部長等の適任者が出席し対応しております。

2023年3月期は中長期ビジョン説明会を実施し（2023年2月16日開催）、代表取締役会長兼社長、常務取締役及び取締役が出席し、中長期ビジョンの説明及び投資家からの質問対応をいたしました。

■対話を行った投資家

①対話を行った回数

2022年3月期 計20件（内、国内15件/海外5件）

2023年3月期 計40件（内、国内23件/海外17件）

②投資家の属性

（数字は回数）

		2022年3月期	2023年3月期	増減
国内	アナリスト	10	16	6
	ファンドマネージャー	4	11	7
	議決権行使担当者	0	14	14
海外	アナリスト	3	10	7
	ファンドマネージャー	2	11	9
	議決権行使担当者	0	2	2

■ボードメンバーへのフィードバックの状況

投資家との対話の状況について、定期的に取り締役に報告しております。

■投資家との対話の取組み

- ・ 個別I R、S Rの受付対応
- ・ 決算説明会（2023年3月期第2四半期決算から再開）
- ・ 決算短信説明資料（2023年3月期第2四半期決算から）

- ・ 決算短信・英文（2023年3月期第2四半期決算から）
- ・ 東映グループ中長期ビジョン「TOEI NEW WAVE 2033」（日・英）
- ・ 適時開示・英文（2023年3月から）
- ・ 株主総会・招集通知英文（2023年3月期から）※予定
- ・ 有価証券報告書・英文（2023年3月期から）※予定

■投資家との対話の主なテーマ

①東映のビジネスモデルについて

- ・ 事業ポートフォリオ
- ・ 他社との差別化
- ・ 収益構造
- ・ 著作権

②ガバナンスについて

- ・ ガバナンス改善
- ・ 親子上場のシナジー

③中長期ビジョンについて

- ・ K P I の根拠と施策
- ・ 投資の内容（映像/不動産）
- ・ 映像事業強化の具体策
- ・ 海外展開の具体策

④資本効率について

- ・ 低P B R の理由と改善策
- ・ R O E 向上策
- ・ 政策保有株式
- ・ 不動産活用

⑤業績について

- ・ 株主還元（配当、自己株取得）
- ・ 2023年度のラインナップ
- ・ コロナの影響
- ・ 映画興行の市場

以 上